

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ (新型インフルエンザ) 情報

インフルエンザ患者数は県内の内科と小児科の医療定点 (199 か所設置) からの報告によるものですが、現在はほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられています。インフルエンザの定点あたり患者数は **31.01 人** (先週 31.93 人) と今週もやや減少しましたが、依然として警報レベル (定点あたり 30 人以上) が続いています。

地域的には、定点あたり 54.00 人の中播磨及び朝来の各保健所管内を最高に、姫路市、伊丹、加古川、加東、龍野及び洲本の各 8 保健所管内が警報レベル、丹波を除く 8 保健所管内が注意報レベル (定点あたり 10 人以上) となっています。

今年の冬から春にかけて (第 1～19 週) の通常の季節性インフルエンザ流行時、全国的に新型インフルエンザが流行してきた第 32～42 週、最近の第 43～47 週の 3 期に分けて患者の年齢分布をグラフに示しました。今回の新型インフルエンザでは、5 歳未満と 20 歳以上の割合が少なく、5 歳から 19 歳までの患者が多いことがわかります。最近の 5 週間 (43～47 週) については 10～14 歳が減少して 10 歳未満の割合が増加して患者の低年齢化の傾向がみられます。さらに、この 5 週間の各週の推移から、10～14 歳が減少して周辺の年齢層の患者の割合が週を追って増加している傾向がみられます。

県内の学校でのインフルエンザによる学級閉鎖等の状況は、休校 14 校 (先週 22 校)、学年閉鎖 140 校 (同 174 校) 及び学級閉鎖 373 校 (同 396 校) の合計 527 校 (同 592 校) で、休校、学年閉鎖及び学級閉鎖ともに減少しました。社会福祉施設等でのインフルエンザ集団発生状況も 36 施設 (先週は 40 施設) と減少しました。詳しくは兵庫県のホームページの新型インフルエンザ記者発表資料をご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa18/press.html>

都道府県別では兵庫県を含む 47 全都道府県に警報レベルの保健所があります。

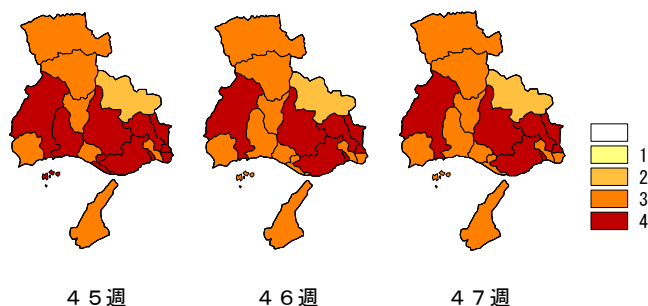
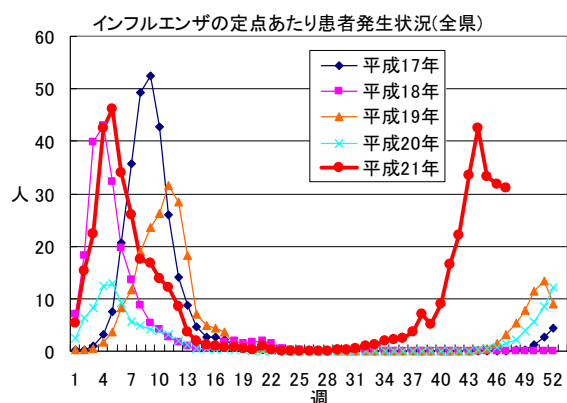
新型インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。受診に際しての注意点等は次のホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa18/press.html>

(兵庫県新型インフルエンザ記者発表資料)

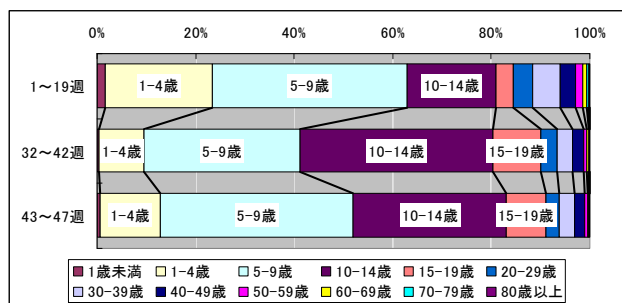
<http://web.qq.pref.hyogo.lg.jp/hyogo/ap/qq/men/pwtpmenu1t01.aspx> (兵庫県医療機関情報システム)

インフルエンザの定点あたり患者発生状況 (全県)

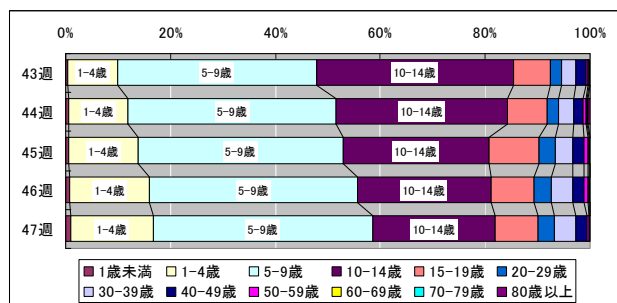


(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています)

患者の年齢分布（1～19週、32～42週、43～47週）



患者の年齢分布（43～47週）



新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ（HP）でもご覧ください。

- ・厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- ・厚生労働省：新型インフルエンザ最新情報 (<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- ・国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- ・兵庫県のHP：新型インフルエンザ対策について (<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	31.01	31.93	-0.92	6位	流行性角結膜炎	0.32	0.14	+0.18
2位	感染性胃腸炎	3.41	2.91	+0.50	7位	流行性耳下腺炎	0.31	0.43	-0.12
3位	水痘	1.05	0.93	+0.12	8位	RS ウイルス感染症	0.26	0.20	+0.06
4位	A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.46	0.52	-0.06	9位	手足口病	0.11	0.15	-0.04
5位	突発性発しん	0.40	0.50	-0.10		細菌性髄膜炎	0.11	0.00	+0.11

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

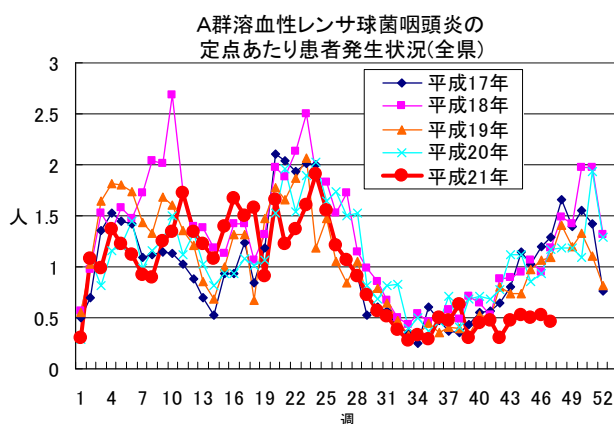
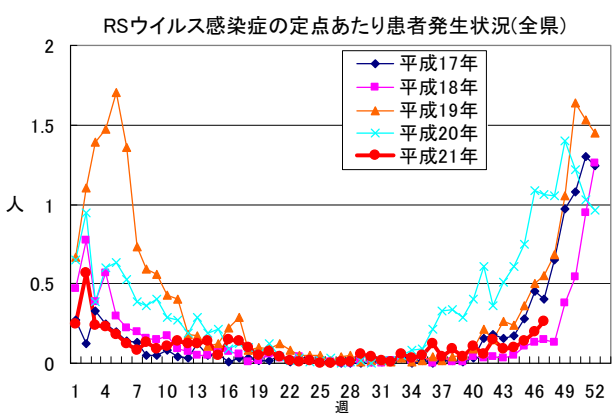
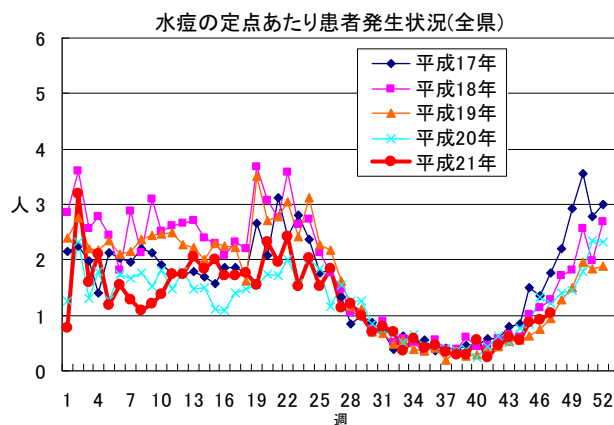
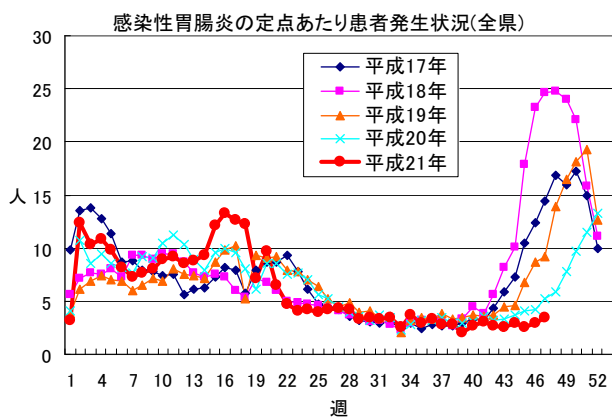
1 類感染症	報告はありません。
2 類感染症	結核 23名 （神戸市 10名、尼崎市 3名、姫路市 2名、西宮市 4名、明石保健所管内 1名、龍野保健所管内 2名、丹波保健所管内 1名）
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1名 （伊丹保健所管内；0157 VT1+VT2+）
4 類感染症	報告はありません。
5 類感染症	急性脳炎 1名 （加古川保健所管内；新型インフルエンザ）
追加報告	結核 4名 （尼崎市 1名、姫路市 1名、洲本保健所管内 2名）、 後天性免疫不全症候群 1名 （無症候性キャリア）

検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

尼崎市内の医療機関を受診した**咽頭結膜熱患者 1名**（3歳）の咽頭ぬぐい液から**コクサッキーウイルスA10型**が、**下痢・発疹患者 1名**（0歳）の便から**アデノウイルス2型**が分離されました。

姫路市内の医療機関を受診した**滲出性扁桃炎患者 2名**（いずれも1歳）の咽頭ぬぐい液から**アデノウイルス2型**が分離されました。

目で見える動向（県内）



感染性胃腸炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は例年の同時期としては患者数が少なく推移しています。水痘と RS ウイルス感染症の患者数は増加し始めています。

この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報 (IDWR) がダウンロードできます。